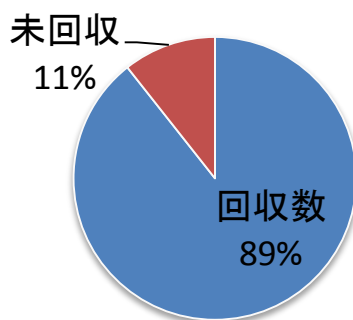


第4回「在宅医療サークル」アンケート

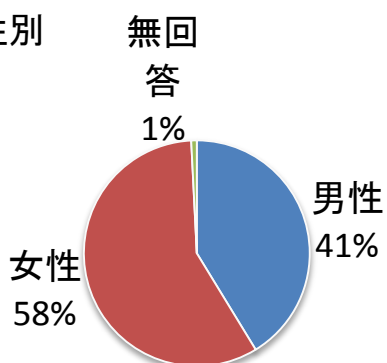
参加者 141名

回収率

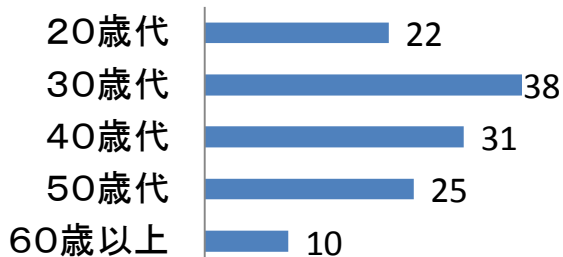
回収数 126枚
未回収 15枚



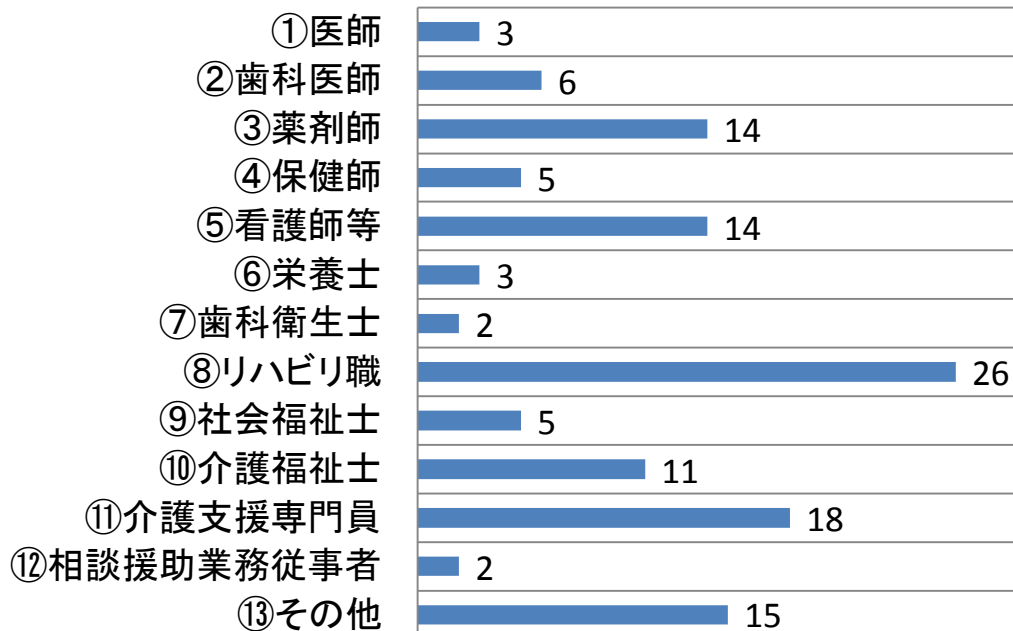
1、性別



2、年代



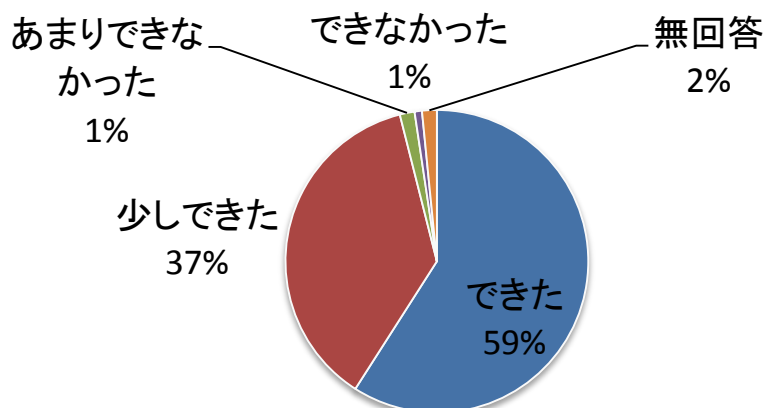
3、現在従事している主となる職種



その他の職種

行政職員
養護老人ホーム勤務
薬学実習生
学生
介護職員

4、「医師の」役割について理解できましたか。

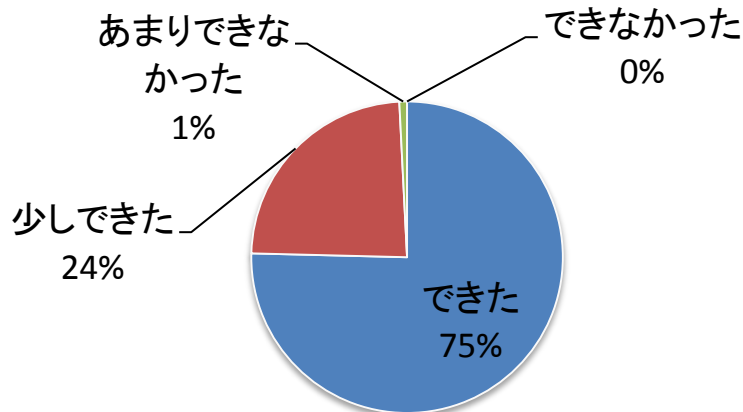


理解できた、またはできなかった内容をご記入ください。

- 1 機能強化型在宅支援診療所を設置され頑張られていることが分かりました。
- 2 「在宅医療をのぞむ患者（ニーズ）に応じて診療を行う。積極的介入とまではいかないが、在宅看取りをのぞむ患者が今後増えた場合、チームとして活躍していく可能性が大いにある。」ということがわかりました。とても参考になりました。ありがとうございました。
- 3 島原市医師会在宅チームがとてご活躍されていると感じました。スライドでT医師が2名いらっしゃりどちらがどちらの先生になるのか知りたかったです。
- 4 島原市に具体的に在宅医療強化の医師チームがあることを知りませんでした。
在宅で看取りを行いたいと考えていてもかかりつけ医が本当に支援してくれるのか費用はいくらかかるのか等わからないことが多く実際にはふみきれず泣く泣く施設という現状です。医師の理解の向上が必要という言葉や束縛はいやという本音を教えていただき良かったです。
- 5 在宅医療への取り組み、現状と今後について
- 6 医師の考え方や活動について少し理解ができた。
- 7 役割が多く、すべては理解することが難しく思えました。講演内容については理解できました。
- 8 医師の在宅医療に対する意識改革が必要となっていることを理解できた。
- 9 医師同士のコミュニケーション
他職種とのコミュニケーションをとっていただきたい！
ただ本当に在宅を進めていく気があるのかは疑問を感じた！
- 10 具体的な他職種の方々との連携の方法や例を今後しめしていただきたいと思います。あと医師が往診している場合でも処方（院外）で訪問指示を得られない医師がいます。どのように理解すればよいのかわかりません。
- 11 自宅で介護している場合（患者）としてはもう少し先生のほうから歩み寄りいただけるともっと相談しやすい環境になると思いました。
- 12 在宅医療の医師チームがあることをはじめて知りました。
- 13 在宅チームとしてこれほど訪問診療を行っていることを知らなかった。
患者やその家族にとっては大変心強いことだと思います。

- 14 在宅医療に対して前向きな医師とそうでない医師が混在している。
看取りに対しても往診、訪問診療を行っている医師のみが在宅医療に関わり実施している。
その方の主治医が往診を行われない医師の時、問題があるのではないかと？
- 15 医師の在宅医療への理解が薄いことが在宅が進まない原因のひとつだということがわかった。もっともっと多くの医師が参加してほしい。そして在宅と入院両方できる病院が必要だと思います。家族が疲れないように。
- 16 医療ニーズの高い方が在宅生活を継続するために在宅医はかかせない存在です。報酬改定の要件で在宅支援診療所のハードルが上がるのは残念です。推進のためにも制度などが足かせになると困ると思う。
- 17 講演が聞けなかった。
- 18 病院診療を行いながら在宅医療を行う事の大変さが分かりました。
そんな中、在宅医療推進委員会を発足され活動の内容を話して頂今後き栄養士として患者様のケア、そして先生方のお力になれるように頑張りたいと改めて思いました。
- 19 在宅までの看取りを考えて在宅医療に取り組んで行こうとされているところ。
- 20 医師間でも前向きに在宅医療推進に努力されている事が分かりました。今後ともよろしくお願いします。
- 21 初診の人の往診が今日お願いして今日は難しいという事は結局は救急車になるのか?とも思った。
- 22 看取り強化について理解できなかった。
- 23 在宅医療を進めていくためには医師がリーダーシップを取っていくこと連携が大切である。
- 24 多職種の連携だけではなく医師の連携も大切。
- 25 島原での在宅の現状や問題点について知ることが出来ました。
- 26 往診医師、看取りを行っている医師、仲間作り協力体制に努力されている、とても心強く感じました。
- 27 在宅医療に医師が積極的ではない現状。
- 28 もっと在宅医療(往診)に積極的になってほしい少しがっかりした。各医師の温度差を解決して欲しい。
- 29 在宅医療の医師の負担(時間拘束や精神的)の大きさ
在宅医療＝在宅での看取りには抵抗があるという事が知れてよかった。
- 30 在宅チームの存在を知らなかったので知れてよかったです。
- 31 今後の展望について知ることが出来て良かったです。
- 32 在宅介護が増加している現状で往診の大切さや医師の大変さが分かりました。
- 33 在宅医療の必要性や制度の壁がある事。今後は医療の場は在宅へ移行していくと思うが看取りの重要性やむずかしさが分かった。
- 34 もう少し役割の部分の話して欲しかった。
- 35 チームで動かれている事も初めて知りました。
- 36 島原医師会在宅チームの訪問診療の事を始めて聞きました。強化型チームでの展望あり。
心強い取り組みだと思いました。

5「薬剤師」の役割について理解はできましたか

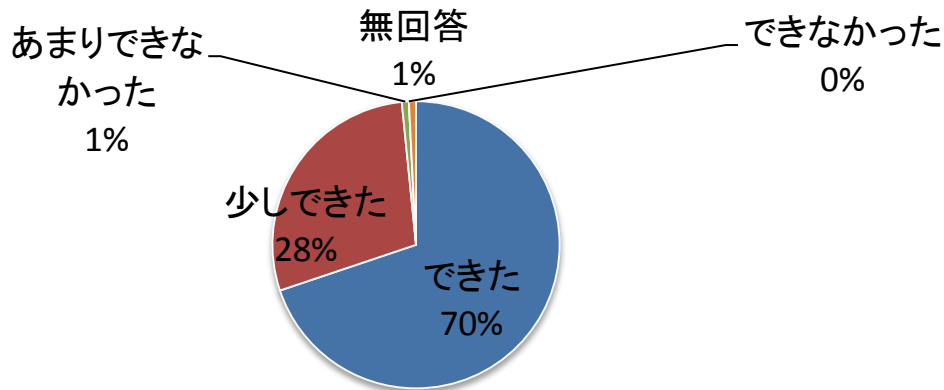


理解できた、またはできなかった内容をご記入ください。

- 1 薬を出すだけでなく残薬管理など頑張られているので独居の方は助かると思います。
- 2 病気と付き合っていく上でお薬の管理、服用は重要なこと。患者のアドヒアランスを向上させるためには薬のプロフェッショナルの力が必要。
知った方で内服状況が超自己管理のため訪問看護が難航しているケースがあります。「飲まない」という方なので「理解してもらおう」ことが大切なのだろうと感じました。
- 3 院外または薬局外での訪問の活用方法がよくわかりました。
- 4 在宅での服薬管理は通常訪問看護師に依頼することが多く、薬剤師による訪問による役割、できること、できないこと、介護保険制度上でどのように活用しているのか正直よくわかりません。
薬剤師の先生が在宅医療への想いをもっておられたことに少し驚きました。今後よく勉強させていただきたいです。
- 5 残薬調整をしてもらえる。相談できる。
- 6 薬剤師の在宅における役割について。
- 7 薬剤師の介入方法や考え方について少し理解できた。
- 8 在宅での役割を再認識することができました。
- 9 薬剤師が訪問して在宅医療にかかわる意義を理解できた。
- 10 服薬指導の重要性
- 11 患者の同意があっても医師が訪問指示を出してもらえないことがある。しかも医師は往診しているにもかかわらず指示が出ないものはいかがなものか。
- 12 在宅にここまで関わっていただけるとは思ってませんでした。
利用する薬局の方、意外にクールな方が多いので。
- 13 調剤薬局で訪問する流れがわかりました。
都会で行われているものだと思っていたら島原でもしていたんですね知りませんでした。すばらしい。
- 14 これまで在宅における薬剤師の役割について知らなかった。服薬支援、患者支援について理解できた。
- 15 服薬は理解できました。時間外でも対応してほしい。
- 16 実際に初めて訪問薬剤師の役割を知った。
- 17 今日話を聞いて、もっと薬局で話をしたいんだと安心しました。
- 18 薬剤師との関わりがないですが、本日の研修で服薬管理はもちろんのこと、ご本人やご家族などのことなど深く理解し対応されており、今後相談したいと思いました。
- 19 患者、家族の本音に迫るコミュニケーションの具体的な内容が詳しく知りたかった。
- 20 事例があり、薬剤師の先生の役割が良くわかりました。

- 21 訪問時の業務内容。
- 22 残薬の確認は特に大事だと感じた。
- 23 薬剤師さんに訪問して頂いた場合、金額的にはどれくらいかかるのでしょうか？
- 24 体が痛むのか、心が痛むのか「本音」に迫るコミュニケーション。薬剤師として目指したい。
- 25 4つの心構えが特に良かった。
- 26 薬剤師の在宅での活動を始めて知りました。
- 27 薬剤師会からの発表を聞いて理解できました。
- 28 具体例を伝えていただきわかりやすかったです。
今後困難事例(服薬支援)ぜひ相談させて頂きたいと思います。
- 29 全盲の方の薬確認は本人が自分で持っていて服薬しているものの、自分で服薬したりしなかったりで体調を整えている様子がうかがえる。残薬問題などを考えると本人の納得いく服薬の説明が得られないと思った。
- 30 居宅で介護をされている家族や支援している通所サービス事業所とも連絡が取れていればいろいろな出来事に関わられて施設としてもとても心強いと思います。
- 31 薬について。
- 32 「残薬」をない状態にする。飲めない人をいかにアセスメントしてのめるようにしていくか、薬剤師の先生方と連携をとっておく又は相談していく。
- 33 先生との連携が大切だと思われる。
- 34 病気の症状が薬ひとつで変わるため処方されて薬を飲むように言われているのに飲んでいない人は多々いらっしゃると思います。その方に対する服薬支援が分かった。在宅へつなげるためにはいつでも対応出来る様に24時間体制が必要なのではないかと思った。
- 35 薬剤師の在宅での重要性について知ることが出来ました。
- 36 馬場先生、とても身近に感じました。
- 37 コミュニケーションスキルの重要性、とりまく家族のフォローへも配慮されており心強いと感じました。
- 38 在宅訪問を実施している薬局がある事。
- 39 見えない所での努力に感動した。もっと連携をとっていきたいと思った。
- 40 事例があり実際の支援内容についてイメージしやすかったです。
- 41 業務の際に高齢者の自宅を訪問した際に残薬が多く服薬管理が出来ていない人が多かった。講話を聞き薬剤師が在宅医療に熱心に対応されている事が分かりました。
薬局とうまく連携をとれば良いなあと感じました。
- 42 在宅医療での薬剤師の役割について理解できたし、職種は異なるが同じような問題点について発見できるように視点を持つことが大切であると思った。
- 43 もう少しやっている内容がほしかった。
- 44 訪問して服薬支援して頂けることは知らなかった。知ることができてよかった。
- 45 薬剤師さんの訪問支援の内容がよくわかりました。
- 46 現在問題を感じているところで共感できる事が多く、解りやすく理解しやすかったです。
- 47 薬剤師さんの在宅での活動が実際に聞けたので良かったです。今後ご相談させていただきたいと思います。

6、「連携室」の役割について理解はできましたか。



理解できた、またはできなかった内容をご記入ください。

- 1 ソーシャルワーカーの方がいろいろな相談支援が分かってよかった。
- 2 限られた入院日数で17%もの入所につなげておられ驚いていますこれからもよろしくお願いいたします。
- 3 限られた入院日数の中で退院前カンファレンスを行っていることがすごいと思いました。
- 4 医療ソーシャルワーカーの役割がよく見えないこともありました。看護師、医師、セラピストにはなかなか言えないことも「相談員」の名のもとよく耳を傾けてほしいです。また私たちのように介護支援専門員に細かな連絡が欲しいです。
社会福祉士ということで幅広い知識が必要と思いますが、介護保険、介護サービスがよくわからずもっと早く教えてほしかったという声がよく聞かれます。是非介護支援専門員をもっと活用してください。
- 5 他職種との連携が大切。
- 6 医療ソーシャルワーカーの役割について。
- 7 医療ソーシャルワーカーの介入や考え方について少し理解できた。
- 8 病院、施設によっても違うことが分かった。
- 9 患者さん係わり方や連携の方法など知らないことを知ることができた。
- 10 医療ソーシャルワーカーの重要性。
- 11 お世話になったことがあるので今回より詳しくお話聞けて、お忙しい中対応くださっていたのに感謝しています。
- 12 患者さん1人1人のケースに合わせて対応するのがとても大変だろうなと思いました。もっと人員が必要なのではと思いました。
- 13 医療ソーシャルワーカーの仕事の内容等について分かりやすかった。
- 14 連携室との関わりはたくさんありますので竹田さんにもお世話になっています。内容的には見えていますのでよくわかりました。
- 15 在院日数が少なく、急な在宅サービス調整依頼が来るのも納得できましたが、もう少し早くお声かけしていただければ、ご本人や家族と居宅としても意向確認の時間がとりやすくなり、より良いかと思いません。
- 16 医療ソーシャルワーカーの活動がよくわかりました。
- 17 3名の医療ソーシャルワーカーの方のご活躍よくわかりました。患者様ご家族様の相談窓口として皆様がいらっしゃること心強く思われている方も多いと思います。今後ともよろしくお願いいたします。
入退院を繰り返されている方の窓口にもなって頂きいつも感謝しております。

- 18 仕組みが分かった。
- 19 支援計画に関わるスタッフには介護福祉士は入らないのですか？ケアが一番しているのは介護福祉士です!!介護福祉士にも意見を言う機会があってもいいと思います。
- 20 「退院支援」だけではなく患者様の問題や相談事など、病院の窓口となってもらえる。入院から退院後も切れ目ない支援を目指して連携相談をする責任者となってもらえる。
- 21 患者の立場に立ってやられている。
- 22 連携室の実際の仕事内容と重要性がよくわかりました。
- 23 病院内における医療ソーシャルワーカーの役割。
- 24 島原病院の役割、医療ソーシャルワーカーの役割について理解できました。
- 25 退院支援の流れについて今後の参考にさせていただきたいと思いました。
入院時のスクリーニングでチェックがあった時に医療ソーシャルワーカーが関わるという事を知れてよかった。
- 26 おおむね理解できたが、連携先が多くありそれぞれで連携のむずかしさや連携内容が違うと思うのでその点を聞きたい。

- 27 役割り実例がわかりやすかった。
- 28 とてもわかりやすい説明で理解できた。日頃から連携させて頂いているので又、当院での自己業務に重なる所もあり重ね合わせながら拝聴させて頂きました。

7、「在宅医療サークル」へ参加しての感想やご意見、また今後「在宅医療サークル」で希望されることなど自由にご記入ください。

- 1 多職種の仕事がわかりよかった。
- 2 患者様で「自宅で死にたい」と手紙を書いてくださった方がいます。在宅での受け入れ(アルツハイマー型認知症あり)が難しいと家族。「施設か療養のできる病院に入れたいから探してくれ」と。私たちはケアマネさんに頼りきりで、家族がムリと言っているからという理由で進路を決めてしまう現状があります。在宅を支える担い手が沢山いるはずなのに、うまく活用できないのが悔しいです。もっと社会資源を見極める力をつけたいです。どうぞ今後もご指導ください。
すみませんやっぱりグループワークがあったほうが楽しいです。。。
- 3 退院支援を行う際に、情報として役立つ内容が沢山ありましたありがとうございました。
- 4 今回の内容はすごく興味がありました。薬剤師、医療ソーシャルワーカーとの対話、グループワークをやってみたい。
- 5 地域(地元)のことが詳しく聞けてよくわかりました。
- 6 最後まで在宅で生活された患者さんの色々な事例報告などを再度聞いてみたい。
- 7 初めて知ることも多く、大変勉強になりました。
- 8 多職種のことについてとても勉強になりました。
- 9 在宅医療について講義を拝聴したら医師、薬剤師、医療ソーシャルワーカーの方々の役割がよくわかりました。
- 10 医師の処方指示(要訪問など)による薬局薬剤師の在宅介入の流れを理解いただけたらと思います。

- 11 実際に在宅を受けている立場の方からの講義があれば聞いてみたい。
- 12 訪問看護、看取りについての実態について事例を聞きたい。
- 13 より知識を深めていきたい。
- 14 実際その他職種との連携における問題点を具体的に話し合える場面を作ってほしい。
- 15 グループワークも楽しかったです。
- 16 栄養士の話役割も聞いてみたい。
- 17 包括病棟で勤務し患者が退院した後の支援を知ることができた。
- 18 医師の話をもっと聞きたい。事例も含めて。
- 19 本日は大変勉強になりました。ありがとうございました。どの職種からも人を相手とした大変さなどが聞き取れました。参考になりました。
- 20 他の職種についても今回のような形で話を聞きたい。
- 21 在宅医療サークルにかかわる専門職の内容がよくわかりよかったです。
- 22 多職種連携において他職種の役割を学ぶ機会となり有意義である。
- 23 在宅医療については授業であまり詳しく習わず、漠然としたイメージしかなかったが、職種ごとにどのようなことをしているか聞いて良かった。希望としては薬局ごとに行っている内容の違いが知りたかった。
- 24 さらに多職種の方たちの在宅医療活動についてお話を聞きたいです。
- 25 いろいろな職種の取り組みが分かり大変良かったと思います。
- 26 名刺交換会みたいな他の職種の方と知り合う場があれば面白いと思います。
- 27 不勉強で申し訳ありませんでした。医療ソーシャルワーカーについてはほとんど知りませんでした大変勉強になりました。
- 28 努力している状況が分かりました。経済的援助も出来るのは心強い。
- 29 各々の立場でお話して頂きどの様な活動をされているのかわかった。困った時は各々の専門の方へ相談できると思った。このように在宅を支える職種の方が集まって同じことを勉強していくことが連携に繋がると思った
- 30 在宅支援において医師、薬剤師、医療ソーシャルワーカーの役割やどのようにして地域医療を行っているのかが分かった。様々な機関との協力があってチームワークとして医療に活躍していると改めて感じた。
患者様の本音があるから医療機関はその人がその人らしい生活に近づけられるような協力が必要なんだと思った。
- 31 事例に基づいた各職種の役割、業務内容を提示して頂きたい。(より具体的に)
- 32 他職種の在宅医療における役割がわかりやすかった。
連携がうまくいかなかった事例や他機関への要望などもっといろんな意見を聞いてみたい。
- 33 三職種の具体的な役割を聞くことができ勉強になりました。
連携しながら在宅患者を支えていけたらと思います。

- 34 それぞれの職種の考えや役割について学べてよかったです。
- 35 とても勉強になりました。参加して良かったです。今回お話されなかった他の職種の方のお話も聞きたいです。
- 36 医師、薬剤師、医療ソーシャルワーカーの方の在宅医療に関するお話を聞く機会がなかなかありませんでしたので勉強になりました。ありがとうございました。
- 37 今後も在宅医療が必要になってくる現状があるので関係機関と連携し慎重に対応していきたいと思いました。
- 38 在宅医療に関わるスタッフとして自分たちの職域だけではなくその患者さんの変化や問題点に気づけるようになりたいと思った。そういう意味でも他の多くの職種からの講演を聞くのは有益だと思う。
- 39 在宅医療に対するイメージがわからなかったが、それぞれの専門職種の役割を知ることができてよかったです。ありがとうございました。
- 40 島原での取り組みの具体的な事が聞けて良かったです。多くの方が参加されており関心が高まっていることを感じました。
- 41 地域包括ケアシステム構築にて各関係機関の連携が強化しているのを感じますが、夜間や救急時の対応が難しいと感じる面も多い、今後夜間や緊急時の対応が可能な社会資源、取り組みなどをお教えてほしい。
- 42 どうしても医師との連携が難しいので医師とのかかわりについて今後は検討していただきたいですね。